

1. はじめに ～真の「学力」を身につけるために～

誰も予見できない、先行き不透明な時代に必要となる資質・能力とは何か。それは、「何を学ぶか（知識）」に加えて「どのように学ぶか（行動）」「何ができるようになるか（成果）」という視点に基づく真の「学力」です。

真の「学力」、それはどうすれば身につくのでしょうか。もちろん、普段の教科の授業や課題を通して身につけることも十分に可能です。しかし、そこに、探究型の学習を取り入れることによって、さらに「学力」を深化させることが可能になります。

「探究」とは、「物事の真の姿を明らかにし、見極めようとする事」（『明鏡』大修館書店）です。つまり、探究型の学習の中には〈問題発見→解決〉を念頭に置いた、深い学びの過程を実現することが含まれます。教科の知識を有効活用し、教科を横断して総合的・多角的に見たり考えたりすることで、知の構造化が進み、それはまた各教科の学習にも還元され、深い学びが醸成されます。

この探究型の学習を進める上で重要になるのは、

- 幅広い視野での関心・知識を深める力
 - 問題解決のための思考力・判断力
 - 情報を収集・選択・活用する力
- の3つの力、すなわち「探究力」です。

さらに、真の「学力」を伸ばしていく鍵となるのが、

- 自ら行動する主体性・積極性を持つ
 - 協働性・コミュニケーション力を持つ
 - 意見を人に伝える情報発信力を持つ
- の3つの特性、すなわち「豊かな人間性」です。

真の「学力」を身につけるときには「豊かな人間性」が不可欠です。

アンテナを高く張り、様々な方向から、多様な知識、情報を手に入れてください。新聞は有効な情報源です。また、実際に出かけて、見てくる、聞いてくる、触れてくる体験も大切です。さらに、いろいろなジャンルの本を読みましょう。「知識・情報」だけではなく、「感性」を磨くためにも、たくさんの書物に触れることが大切です。小説、エッセイなども多く読むことが、自らの人間性を豊かにすることにつながります。

「総合的な探究の時間」の活動を通して、皆さんが「探究力」と「豊かな人間性」を育み、真の「学力」を身につけることを期待しています。そして、日本だけでなく世界を牽引していくグローバル・リーダーとしての資質を高めていくことも、期待しています。

2. 「探究力」を磨くために

～「SDGs」をテーマとして課題研究に取り組もう～

2015年の9月25日～27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標をかかげました。この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

次のページには、17の目標についての資料が載せてあります。

まずは、世界の課題を知るところから始めましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

